

「本のタイトル」を命名する方法

萩原 義雄

タイトル＝題名を決めるとき

名ハ、人が認識し、発見し、発明したものやことからのリストである。人がなにかある存在に対して認知すると、例外なく名がつけられる。事象の事物は、名を以てこの人の世の存在することの登録を成すのである。其名は自己のもつ存在感を他にアピールするといつてもいい。

実際、多くの題名が編まれ、この地上に無数に存在しうる森羅万象の名を有するものごとは、どの位置でどの環境を保持し、どのように活動するのか、その区別をつけることが可能なことは云うまでもない。

今回「本の題名」を決めることは、そのグループ別にする最も有効に働くことにながっていく。この題名がこの地球上で毎日何千何万件という数で生まれ出づる営みをつづけてきた。其名は、個人個人が自由につけて、誰かがどこかで統制するわけでもない。名を持った瞬間から同じ言語圏の人に通用し理會されていく。所属する範疇を表示する(示差力)、その名の特徴を理會させる表現力(表意力)という二つの働きの、命名という行為のなかで同時にもたらされていく。不思議な現象をここにみるようになる。

この題名を決定づけられたものごとは、どう動くのだろうか？

○白百合。黒百合。車百合。鬼百合。姫百合。山百合。

○紋白蝶。黒蝶。木の葉蝶。孔雀蝶。姫白蝶。揚羽蝶。

のような名は、同じ「百合」「蝶」という類義概念を示す語と「姫」「黒」「白」などの種差を示す語との組み合わせで名付けられた生物名である。この両者が示差力と表意力といったバランス感覚であることを認識しておこう。これに対し、

青梅街道。三井住友銀行。弦巻中学校。伊勢屋旅館。駒沢大学駅。ロマン。

などの名は、表意力を投げ捨てて、種差にも地名・姓・屋号をかんむりして、もっぱら他からの区別することを主要目的に据えた実に実用性の高い名だと云えよう。

言語工学研究所 [構文解析試用サイト](http://www.gengokk.co.jp/koubun/) [update:2007/05/31] <http://www.gengokk.co.jp/koubun/>

シンソーラスの用途

シンソーラスはいろいろなところで使われています。用途によっていくつかに分けられます。

1 連想支援に

文章を書くときにより適当な用語を探すために使います。「分類語彙表」などこれまでの書籍によるシンソーラスは、ほとんどがこのタイプでした。

2 検索キーを搜すときに

インターネットのなかを検索する場合を考えてみます。いろいろな人によってすでに書かれている記事を探すわけですから、用語の統制を図ることは不可能です。漏れなく検索するためには、普通に考えられるすべての語をもつて検索してみる必要があります。多様な書き方の検索キーを取り出すためにこの「シンソーラス」を使います。検索システムによっては、検索キーワードに「同義語」や「関連語」などを自動的に付加して検索するシステムもあります。

《例文と実際の解析例》

酒の名前のつけ方と相撲の醜名のつけ方とは似ている、という説を立てたことがある。もちろん一杯やりながらの咄嗟のひらめきで成ったもの。そのときはちよつと見所のある説だという気がした。たとえば劍菱。横綱にな

とてもおかしくない。



右の文章を茲に入力し、その内容を投影させたものである。

酒の名前 ベスト一〇

- 1位 『山』(24) 銘柄で使用)
- 2位 『鶴』(20) 銘柄で使用)
- 3位 『正』(19) 銘柄で使用)
- 4位 『宗』(18) 銘柄で使用)
- 5位 『菊』(16) 銘柄で使用)
- 6位 『大』(15) 銘柄で使用)
- 7位 『金』(14) 銘柄で使用)
- 8位 『泉』(13) 銘柄で使用)
- 9位 『乃』(13) 銘柄で使用)
- 10位 『白』(12) 銘柄で使用)

相撲の醜名

「白鳳。白熊。白頭山」はいずれも外国人力士

一、〈ネットで見える類語辞典及び検索システム〉

1、[Weblio—類語辞典](http://thesaurus.weblio.jp/)〈シソーラス・同意語辞書・同義語辞典〉 <http://thesaurus.weblio.jp/>
 Weblio 類語辞典・同意語、同義語、縁語、関連語、約40万語を収録。Weblioのデータベースを使用したシソーラスを同時に検索。

2、日本大学文理学部国文学科 [荻野 網男編](http://www.chs.nihon-u.ac.jp/jp_dpt/ogino/) http://www.chs.nihon-u.ac.jp/jp_dpt/ogino/

3、類語辞典…翻訳のためのインターネットリソース <http://dir.kotoba.jp/ddcat.cgi?k=thesaurus&fsz=2>
 Yahoo!辞書 <http://dic.yahoo.co.jp/>

4、浜島書店 [中学国語便覧逆引き索引](http://www.hamajima.co.jp/kokugo/gyakubiki/) 類義語・対義語 <http://www.hamajima.co.jp/kokugo/gyakubiki/>

二、〈書籍で見える類語辞典〉

5、類語国語辞典(単行本) 大野晋(著)、浜西正人(著) 角川書店刊

6、類語大辞典(単行本)柴田武(編集)、山田進(編集)

7、レトリカ(比喻表現辞典)第二版(単行本)榛谷泰明(編集) 白水社刊

もつと、ことばを！ 古今東西の文芸作品のなかから一三〇〇項目・四〇〇〇事例の比喻表現を集めた機能的でコンパクトな文章表現の宝庫。

三、〈ソフト販売で見る類語辞典〉

8, デジタル類語辞典第五版〔言語工学研究〕

コピー作成やネーミングに必携の約三〇万語を収録する。

たとえば、「えいきょう【影響】「名」ということばのソーラスを構築検索すると、

1, 観点……巻き添え。

2, 同義語……あおりを食う。あおりを食う。しわ寄せ。

そばづえを食う。火の粉が振りかかる。

巻き添えを食う。響く。累が及ぶ。

3, 広義語……×

4, 狭義語……そばづえ。とぼつちり。巻き込む。巻き添え。

累及。

5, 関連語……たえる。関係。結果。後腐れ。差し障り。累。

というデータを検索し、その取り巻きのことばを知る仕組みとなつている。こうした類義語を活用することとことばの広がりを獲得することが出来る。

その用例として、明治二〇年頃の「真に互に**差響**かずして、人間の認識及び生活に**影響**せぬほどさほどに隔離れたる境界ありや」「二葉亭四迷「カートコフ氏美術俗解」所載」といった、文章には同義語「さしひびく」と対にして漢語「影響す」の語が用いられている。このように和語と漢語を巧みに駆使して一つの文ができていくことに気づくであろう。また、上記のデジタル類義語辞典には、表出していない語として漢語「感化」が知られている。ただし、この語はその対象が人間であつて、特にその精神面によい結果を及ぼすという用法での制限があ

つた。そこで広く中立的な意味で事物間の相互的作用についてあらわすために、この「影響」の意味が拡大して生じたものである。

○当世書生氣質(一八八五〜八六)〈坪内逍遙〉三「君の精神上に、たいした**影響**を、及ぼさない事であれば」

○多情多恨(一八九六)〈尾崎紅葉〉後・三・二「直接に彼の感情に**影響**したのは」

○坊っちゃん(一九〇六)〈夏目漱石〉三「教場のしくぢりが生徒にどんな**影響**を与へて、其影響が校長や教頭にどんな反応を呈するか」

○草枕(一九〇六)〈夏目漱石〉五「もしこの親方の人格が強烈で四辺の風光と拮抗するほどの**影響**を余の頭脳に与えたならば、余は両者の間に立つてすこぶる円えんせいほうさく※方鑿の感に打たれたらう」

○草枕(一九〇六)〈夏目漱石〉七「美術家だのにと云われると恐縮するが、実のところ、余がこの楽器における智識はすこぶる怪しいもので二が上がるうが、三が下がるうが、耳には余り**影響**を受けた試ためしがない」

○草枕(一九〇六)〈夏目漱石〉十二「心的状態が絵を構成する上に、かほどの**影響**を与えようとは、画家ながら、今まで気がつかなかつた」

○雁(一九一〇〜一三)〈森鷗外〉三「知らず識らずの間にその**影響**を受けてゐたためもあるだらう」

これらの用例に「感化」の語を置換してみるとご理解が一層進むであろう。逆に、「感化」の用例に「影響」の語を置換してみるとどうであろうか……」

○西国立志編(一八七〇〜七一)〈中村正直〉一一・一九「学士アルノールド亜璠爾徳の徳行他人を**感化**せし事」

○破戒(一九〇六)〈島藤崎村〉三・五「君、あまり**感化**を受けるのは可くないからサ」

○坊っちゃん(一九〇六)〈夏目漱石〉六「生徒の風儀は、教師の**感化**で正していかななくてはならん」

ここで、漱石の『坊っちゃん』に、旨い具合に「影響」と「感化」の両語が用いられているので、漱石はこの類義語を如何に用いていたかその語意識を分析することも出来てくる。実際、「感化」の箇所「影響」の語を入れてもさほど大きな相違にはならないが、他に対してある作用を及ぼす、という意味では「影響」と近い意味なのだが、

「感化」は「影響」よりも狭義語で、人間に対して、道徳的・倫理的その他の精神的な作用を与えることで、良い結果を及ぼすという意味合いが強いことが見えてくるのである。しかし、時代の流れは、「影響」の語を支持し、「感化」の語は次第に停滞していくのである。

《ことばの実際―辞典を繙く―》

A三省堂『大辞林』

かんか「くわ」・【感化】(名)スル 影響を与えて考えや情緒を、変化させること。

・キリスト教の―を受ける

・友人に―された

B小学館『大辞泉』

かんか「クワ」【感化】「名」(スル)考え方や行動に影響を与えて、自然にそれを変えさせること。「兄の―を受ける」映画に―される」

C『ニューセンチュリー和英辞典』で「感化」の語は、

かんか【感化】influence

◇感化する―influence; have [(文)] exert] an influence ((on))

・シムバイツァーの感化を受けて、彼は医者になろうと決心した

[Under the influence of [Inspired by] Schweitzer, he made up his mind to be a doctor.

・彼は悪い友達に感化されやすい

He is easily influenced by bad friends.

このように、自身を書き出した文章をさらに“変幻自在”に置換・改編していくことも有効であろう。この

妙味を、自身で実感してみることを、ここではお奨めしたいのである。